



日一十月三年五和昭... 町一十月三年五和昭

### 初搾業者の組合は 農家に迷惑な存在

#### 美名の協力で営業を苦しめる 以つての外に反対側の談

初搾業者の許可制に對して石城郡下當業関係の協議會は昨報の如く平町團休事務所樓上に開催百余名の出席で縣の取締規則を指示説明ありたる後規則遵守の爲めと稱し即席石城初搾業者組合の設立を見たのであるが其の結果として料金協定に當り相當の論争を交へられた争ひの主要は既に郡北方部に於て一時間八十錢に決つた初搾料金を一圓に初搾は一俵普通十錢程度のものに十九錢に値上げせんとする是否の論で右の組合案に對する反対側は初搾業の許可制によつて現はれた組合のために立ち所に料金を値上げされるが如きは農家を苦しめるのみで何等の効果がなく向後また組合の自由意志で増額を行はれる協定を破らぬ申合せをされる様では困ると云ふのであつて農業者の立場を思ふ強硬の主張が遂に用ゐられず初搾料だけ漸く原案から二錢を下げた十三錢に決したが右に就て反対側某氏は語る

### 小田氏の寄附に輝く 磐城高女講堂

#### 基礎工事に着手年度内に竣工 百六十二坪の設計成りて

石城郡好間村の炭礦王小田吉次氏の寄附によつて新設される工費一萬三千圓の磐城高女講堂は正木同校長及び寄附者講堂は正木同校長及び寄附者の意向等をも參照して縣警務課の手により設計中であつたが此の程構圖成り去る二十二日本校東側に撰まれた敷地に

### 大なる社會事業 人類愛の養老院

#### 宮城刑務所長その他大賛成 建設費二萬圓で平町に

財団法人平町會館の同意を得たる引取人のない養老院で老齡なものを保護救済し天壽を全ふさせ様とする人類愛から企圖された養老院の建設は其の後同計畫者である吉岡平判

### 常談講座

クロイズ・アップは接近撮影、映畫で顔だけ大きく寫す事、生活苦に最後決心をと思つても若しもの時を考へると妻や子の顔がグロブアップになつてのしかより等とも使ふ、

### 木炭の検査料収入 剰余金實に四萬圓

#### 該金を木炭事業に使用する事 手數料は値下げの陳情

縣下の木炭同業組合は昨廿三日福島市に開催されたが木炭検査を縣に移管されて以來検査手數料収入を以て現在する剰余金四萬圓を越えてゐるので會同業組合から検査を縣に移管の際當局が聲明されてゐる如く木炭によつて得たる金は絶対に他に使用せず木炭の事業に使用する筈であつたので之れを斯業の爲めに充てられる様を本年の冷害は殊に山村に悲慘を呈してゐる

### 郷土史抄

#### 遺影を偲ぶ 故郷先生 (瀧川家の史料採訪) 鮫川 漁史

但し彼れが泉濱より按察府山形縣、磐前縣へ、乃至戸長役場、縣會等に至る官公職關係の記録、原本自寫本の如きも多大にあるが、其等は彼れが著述にあらずば悉く右より除いた。

### 經聯支部の 明治館參拜

平町團休事務所で十一月三日の明治節に於て茨城縣那珂郡前濱なる田中光顯伯の建設に係る明治記念館及び同地經國堂を拜詣すべく自論まされてゐたが昨二十三日夜支部長である平町南町大森勇氏方に幹部會を開き自動車旅行に決して同志を誘つてゐるが會費は二圓五十錢であると

### 國防婦人幹部會

平町國防婦人會では近く總會を開催の筈で今二十四日午後一時から町役場内に幹部會を開いた

### 記者と人絹の野球試合

在平日刊記者の野球會は来る二十六日石城郡好間村の昭和第一野球會に遠征を申込み快諾を得たので當日植田町小学校庭に於て錦を創ると

### 石城警友幹部協議

縣下に於ける石城、白河、田

### 赤飯の中毒か

石城郡小名濱町の橋本山野邊

### 山林住ひの 炭焼窃盜

昨年來居村荒し西白河郡金山村生れ水野谷弘(三)は炭焼業を職として石城郡三坂村及び澤渡村の山地に居住してゐるが昨年中窃盜のため數回に亘つて署の取調べを受けた男だが本年八月申澤渡村の市下萱字北矢吹勇方の農家不在に忍入り衣類十五點價三十圓を窃取したる外七件の窃盜あるを平署に探知逮捕されて目下取調中である

### 稲作指導講演

石城郡好間村農會では今二十四日午前七時半から同村小学校に於て農事實行組合産業青年團の聯合主催で稲作の指導講演會を開催したが郡農會から柴田技手出張農事講演會を研究発表及び批評會がありその後四倉藤前石城販利組合經營の菜種搾油所を一同で見學した

### 女を蹴飛ばす

石城郡好間村の北好間古河炭礦の飯場頭杉山純一(三)は去る九月末頃同村の福田とし(三)の方で同人と口論の末腰腹を蹴飛ばし全治二週間の傷害を與へたこと此の程に至り平署に發覺し二十二日同署に召喚取調中である

### 赤飯の中毒か

石城郡小名濱町の橋本山野邊

### 赤飯の中毒か

石城郡小名濱町の橋本山野邊

### 赤飯の中毒か

石城郡小名濱町の橋本山野邊

はる(三)方に於て去る二十一日の祭禮に惡意先から貰つた赤飯が悪かつたのか其れを食した後一家四名が中毒して下痢吐瀉を續け夫々手當てを加へたが孫の周一(九)は翌二十一日朝遂に死亡した

